

学校関係者評価委員会

2020 年度第 2 回委員会 議事録

1. 日時および場所

日 時：2021（令和 3）年 2 月 25 日（水）18：00～19：45

場 所：修成建設専門学校 129 教室

2. 出席者（順不同、敬称略）

委員

丸山 徹、奥田 祐司、相賀 勝、藤田 晴樹、大槻 憲章、田中 文雄、大和 正、森本 起三子

（計 8 名）

学校（オブザーバー）

山下裕貴（理事長）、堤下隆司（校長）、見邨佳朗（副校長・建築 CG デザイン学科科長）、谷川博康（学生相談室室長）、増田和浩（建築科科長）、鍵谷啓太（空間デザイン学科科長）、釜友知與子（専科科長）、山本順也（住環境リノベーション学科副科長）、野瀬孝男（土木工学・建設エンジニア学科科長）、明石祥子（ガーデンデザイン学科科長）、亀井哲男（事務局長）、藤本 喜代志（広報部長代理）（計 12 名）

（参加者合計 20 名）

3. 配布資料

資料 1-1：令和 2 年度第 2 回委員会 議事次第

資料 1-2：委員会出席予定一覧

資料 1-3：令和元年度学校関係者評価委員会評価報告書(案)

4. 議事次第

(1) 開会挨拶

堤下校長の挨拶、藤田委員長の開会挨拶（OL）に続いて、山下理事長より挨拶がなされた。

(2) 議事内容説明

堤下校長から本日の議事内容について概要説明が行われた。

(3) 議 案

令和元年度学校関係者評価委員会評価報告書(案)について

令和元年度学校関係者評価委員会評価報告書(案)（資料 1-3）についてその内容が承認され、委員会より修成建設専門学校に報告書が提出された。

(4) 各学科令和 2 年度評価報告

各学科長より 2019 年度課程修了の評価報告がなされた。

① 建築学科（昼夜）：増田委員

2019 年度の法改正で、工業高校出身者は二級建築士が在学中に受験できることになり、2 年生の 2 名が本校の講習会を受け、合格することができた。1 名は専科 1 級建築士科に入学、最短での合格を目指している。また、先日 2 月 24 日に発表された大阪府主催のあすなろ夢建築コンクールにおいて、1 年 6 組の学生がグランプリ受賞の報告があった。建築学科夜・昼 1 年生で取り組んでいたのでもいい結果で終えることができた。

② 建築 CG デザイン学科：見邨委員

1, 2 年次とも表現力の向上に加え、建築計画力の養成を図ることを目的に、設計製図の時間の中で、手描図面を基に模型作成を取り入れ、設計内容の 3 次元確認を行い計画段階へフィードバックした後に、デジタル表現に移行させる取り組みとした。また、建築 CG デザイン学科の卒業生で一級建築士取得後に意匠設計事務所を開設した先輩との交流、建築模型専門家による特別講義で模型はもとより、3D プリンター使用の模型業界での実状を解説していただくなどの企業連携も行った。進路については、設計職が 8 割、その他、クラスの約半数が専科 2 級建築士科に内部進学。

＝新・専科 1 級建築士科：見邨委員＝

今年の 1 月 12 日より専科 1 級建築士科の予備授業を開始。正式には 2021 年 4 月スタート。合格を目指して全力で取り組んでいく。

③ 空間デザイン学科：鍵谷委員

コロナ禍のなか、演習を重視している本科では「できないこと」も多かった。

しかし「リモートだからできること」も多く発見でき、新しい価値観を学生に提示できたと思う。昨年度の関係者委員会では次年度目標として掲げた「産学連携の強化」

「1, 2 年生の縦のつながり強化」は、今年度さまざまなプロジェクトを行なうことで実現できた。学科教員一同、コロナのなかで「何もなかった」学生時代にしない！をテーマに頑張っている。

④ 住環境リノベーション学科：山本委員

コロナ禍でオンライン授業となり、実習・演習が出来なかったことが大きく、また、学外への見学会も全て中止となり学科の特徴を出せなかった。オンライン授業については資格講義を実施したが、思うような結果は得られなかった。今回のことを踏まえ、今後への対策へ繋げたい。次年度はオンライン授業の強化に加え、学外授業を実施したいと考えている。

⑤ 専科 2 級建築士科：釜友委員

新型コロナの影響で 1 ヶ月と少し授業ができず、当初は日建学院様の映像講義を利用し教員は、学生の学習フォロー質問対応。4 月 20 日から専科授業オンライン授業がスタートさせたが、余裕のない詰め込み授業という形となり、学生の中にはオンライン授業入室はしているが、受講していない学生やスマートフォンで受講したものがクラ

スの半数であり、授業後の小テスト結果を高めに報告したりなど学生の理解度が把握できない状況となった。次年度の改善策としては、タブレット以上で視聴できるように事前指導を行う。また宿題管理も徹底する。製図は、堀江ラボで実施し平日のみの授業という短い期間だが集中できた。自宅でも作図練習が出来るように平行定規を貸し出しするなど工夫した。また、製図講師間で打ち合わせの連携がうまくできた。後期スキルアップで、新たな試みとしては住宅設計講座、積算協会様から講師を派遣していただき、建築積算士を目指す講座を実施した。本年度の反省を生かし、次年度に向けてがんばっていききたい。

⑥ 土木工学科・建設エンジニア学科：野瀬委員

資格取得について、コロナウイルスの影響で試験日程が大きく変更されたものの、測量士補 2 名合格、2 級土木施工管理技術検定学科試験は土木工学科 92.6 %、建設エンジニア学科 76.9%、実務経験のある学生が 2 級土木施工管理技術検定(学科・実地)2 名合格。キャタピラー教習所での特別教育・技能講習などは予定通り修了することが出来た。コロナウイルスの影響で今年度は 1 年生の宿泊を伴う富士教育訓練センターでの 5 泊 6 日の実習は中止した。進路については、土木工学科・建設エンジニア学科とも、2 年生はほぼ進路が決定している。1 年生は、合同企業説明会 や インターンシップに参加予定。

⑦ ガーデンデザイン学科：明石委員

コロナ禍で国家試験や様々な見学会等のイベントが中止となったが、学生たちにとってはそこで生まれた焦りが学びへの強い意欲に繋がる結果となった。G 科教育目標の国家資格取得について、造園技能検定が中止、2 級造園施工管理学科試験は 21 名全員が合格。新 2 年生は次年度に造園技能検定、2 級造園施工管理学科試験、卒業制作とすべての目標をこの 1 年でクリアしなければならない。また新入生と共に 2 学年が同時に技能検定を受験する為、大変に慌ただしい 1 年となるが目標達成に向け学生、教員共に一丸となって取り組む。

3) その他

①質疑応答

☐ 令和 3 年度の入学者数は確保できているのか？

当初はコロナ禍の影響でオープンキャンパスや校内説明会が開催できないなどあったが、規模や開催内容に工夫を図ることで一定程度の広報活動はできた。現時点において計画していた入学者数を確保することができている。

②堤下校長より

☐ 「卒業展 2021」について

2 年生が取り組んだ卒業設計の中から 54 作品が 1 次審査を通過。通過作品制作者全員の 1 分動画を撮影してHPに公開中。その中から 2 次審査で 19 作品に絞られ、最終、教育課程編成委員会 外部委員にグランプリ 1 作品、準グランプリ 3 作品を選出し

ていただいた。堀江ラボでの卒業展は中止としたものの、今後上位4作品のプレゼン動画を制作、HPで公開していくと共に、グランプリ、他の受賞作品制作者を3/11実施予定の卒業式において表彰する。

□「卒業式」について

3/11(木)ウェスティンホテルにて実施予定。コロナ感染予防の観点から教職員と卒業生のみで実施することとする。

□「二級建築士（学科・製図）試験対策講習会」について

二級建築士を目指す在校生や卒業生をはじめ、一般の多くの方を対象としたオンライン講習会を実施。社会人やWスクールを考えている方にお勧めの講習会となっている。

③山下理事長より

□「建設業界サポート&キャリアプログラム」について

建設業界への就職を強く希望する志の高い学生に対し、本校学生の求人を強く望まれている企業が在学中の授業料を貸与することで経済的サポートを担う奨学金制度である。奨学金の貸与に関わる選考はこの趣旨に賛同してくれた企業が行い、授業料の貸与だけでなく、卒業後のキャリアとして早期の就職内定が得られることが、将来の進路など不安を抱えている学生には、強固なサポートにつながると考える。初年度となる2021年は留学生からの申請もあり、今後企業の審査を受けて決定・実施していく。

以上

(記録・文責：明石祥子、鍵谷啓太)